記者発表資料

令和 ４年 １２月１９日
田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会

第4回「田瀬ダム湖面活用懇談会」を開催
～新たな湖面利用ルールの実施結果について～

田瀬湖の安全な湖面利用方法について議論するため、田瀬湖で活動する団体による「田瀬ダム湖面活用懇談会」を今年の３月～４月に計３回開催し、湖面利用ルールの一部見直しや周知方法について取り決めを行いました。

今般、新たな湖面利用ルール策定後１年目の利用シーズンが終わったことから、周知の実施結果や、今後の課題及び改善点等について意見交換をするため、第４回「田瀬ダム湖面活用懇談会」を開催します。

（田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会は、田瀬ダム水源地域の豊かな自然環境を保全・再生していくとともに、猿ヶ石川でつながる上下流の住民の方々が広く連携して、水源地域の自立的・継続的な活性化を図ることを目的に、平成 20 年 11 月に設立されました。）

記

１．開催日時　令和４年１２月２２日（木）１３：３０～１５：００

２．開催場所　花巻市東和総合支所　３階会議室（ｗｅｂ併用）
花巻市東和町土沢８区６０番地

３．主な議事内容
（１）令和４年の湖面利用状況について
（２）湖面利用ルールの周知結果等について
（３）利用者からの意見・要望について
（４）意見交換

■第１回～３回の「田瀬ダム湖面活用懇談」の資料は、北上川ダム統合管理事務所ホームページ「田瀬ダムからのお知らせ」に掲載しております。
ＵＲＬ：https://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/101event/ta_event.html

≪発表記者会：岩手県政記者クラブ、花巻記者クラブ≫

問い合わせ先

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会（事務局）
〒028-0123　花巻市東和町田瀬３９－１－３
北上川ダム統合管理事務所　田瀬ダム管理支所内
支所長　浅野（あさの）　隆郎（たかお）　　電話０１９８－４４－５２１１

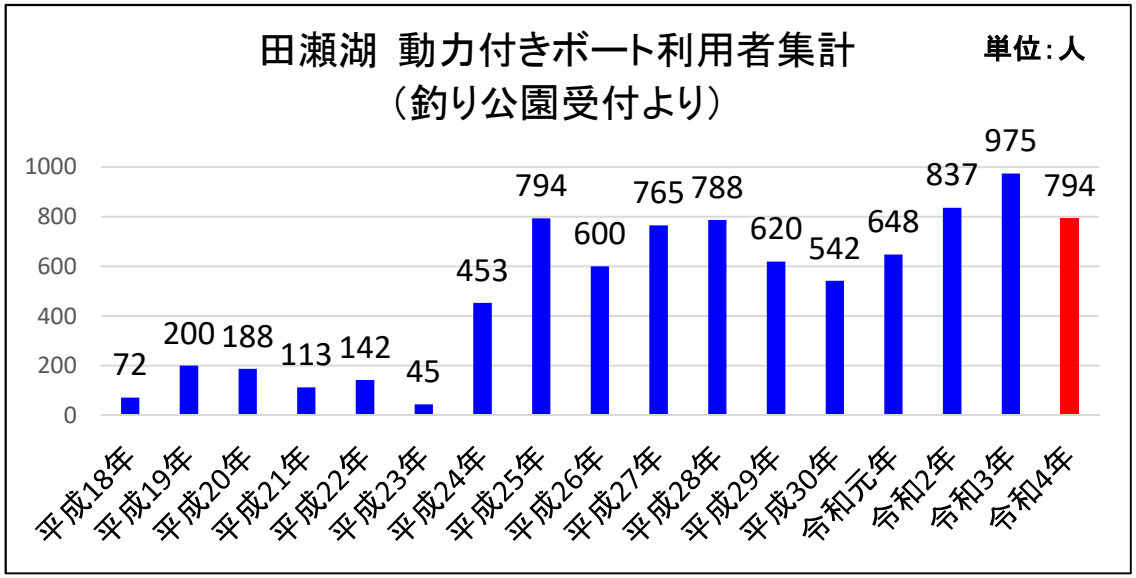
「田瀬ダム湖面活用懇談会」参加者

構成	所属	氏名（役職名）
田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会（会員）	柏木平レイクリゾート（株）	（代表取締役）
〃	田瀬湖振興公社	（理事長）
〃	猿ヶ石川漁業協同組合	（組合長）
〃	国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所	（副所長）
〃	田瀬地域コミュニティ会議	（会長）
〃	一般社団法人　東和作戦会議	（理事）
オブザーバー	花巻市生涯学習部スポーツ振興課（東和B＆G海洋センター）	（課長補佐）
〃	自然遊びクラブ（田瀬湖カヌーガイド）	（代表）
〃	spes activity MORIOKA スペースアクティビティ盛岡 （日本シティサップ協会岩手支部）	（代表）
〃	AUTO SERVICE HOT WAVE　ホットウェーブ （水上オートバイ販売整備・船舶免許・PWSA会員）	（代表）
〃	ＰＷＳＡ東北支部 （パーソナルウォータークラフト安全協会）	（担当）
田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会（事務局長）	花巻市東和総合支所	（支所長）
田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会（事務局）	花巻市東和総合支所 地域振興課	（課長兼地域支援室長）
〃	遠野市宮守総合支所	（支所長）
〃	岩手県県南広域振興局土木部花巻土木センター	（治水環境課長）
〃	岩手県県南広域振興局土木部遠野土木センター	（道路河川整備課長）
〃	国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所 田瀬ダム管理支所	（支所長）

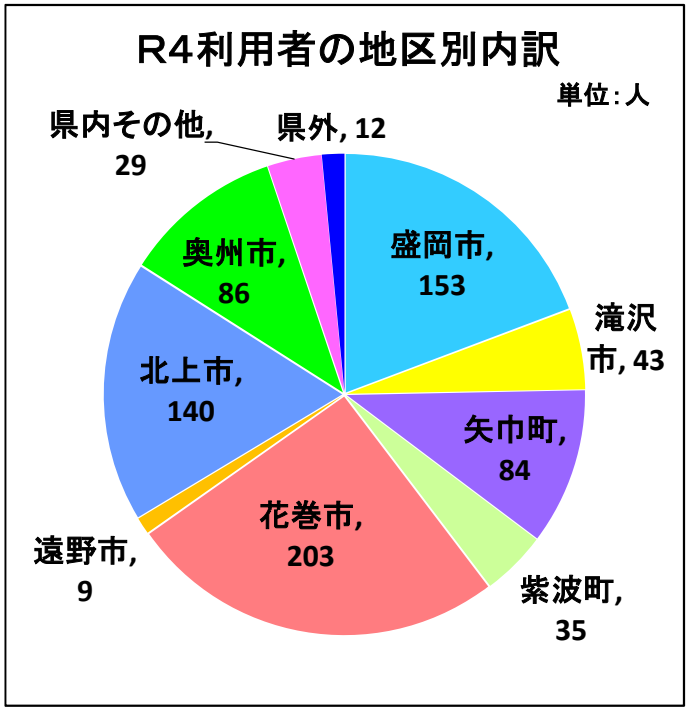
「順不同・敬称略」

田瀬ダム湖面利用状況（動力付きボートの利用者数）

◆田瀬湖では、動力付きボートの利用がここ数年で急増していたことから、安全な湖面利用方法を議論するため「田瀬ダム湖面活用懇談会」を令和4年3月から計3回開催し、利用ルールの一部見直しや周知方法の検討を行った。
◆懇談会の結果を基に作成した「湖面利用ルールチラシ」と現地看板の更新、湖面安全確認等の周知イベントを実施した今シーズンは、誤進入等のトラブルもなくシーズンを終えている。



・利用者数のデータがあるH18年～R4年の平均利用者数は504人。（H24年以降は710人）
・R4年は、5～7月は昨年より増となったが、8～9月の利用者が大きく減ったたことから、全体で減となった。



・**大半が県内**からの利用者（98%）。
・県内で最も利用者数が多かった地区は、昨年は盛岡市であったが、令和4年は**花巻市がトップ**となった。
・令和4年で利用者数が一番多かった日は、7月31日（日）の15グループ 61人。（車は30台以上）